

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	神奈川近代文学館
指定管理者	公益財団法人神奈川文学振興会
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	文化課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 提案に基づいて、文学館運営及び維持管理事業を実施し、予想を上回る成果をあげた。また、文学展開催事業のうち特別展「井上ひさし展」の好調（入場者数14,100人、行事参加者1,086人）に牽引され、年度全体で事業計画の内容、収入予算予測などを上回る成績（入場者数33,715人、観覧料収入8,640千円）を残し、A評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 観覧料収入、会議室使用料収入、図録販売収入などの収入の増を原資として、施設の長寿命化に向けた修繕など維持管理費の増額、展示事業内容の充実などを目的とした支出増を行った。計画額との差異が生じたためB評価となったが、増収による公益目的事業の活性化が充分図られたので、A評価に値する。</p> <p>< 3 利用状況 > 下半期の特別展は、悪天候の影響や、主な来場者が熱心なファン層にとどまるなどして伸び悩み、目標の90.4%となり、C評価となった。ただし、いずれの展示も来場者からは好評を得た。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 10～11月に実施し、上位2段階の回答割合が68%となったためB評価となった。ただし、展示評価に限定すると上位2段階の回答割合が81%となり、展覧会そのものは高い評価を得ている。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 最寄り駅からの案内が少ないなどの苦情が若干寄せられたが、駅からの経路上の標識の設置やアクセスHPのリニューアル、高齢者等への電話案内による丁寧な対応などにより一層改善が図られ、A評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 急病等による来館者等の救急搬送等が発生したが、緊急時対応マニュアル等の充実、訓練による適切な対応等ができたことでA評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 企画展の充実、関連イベント等の活性化、文字・活字文化振興の推進などに積極的に取り組み、同時にアンケートを活用した一般利用者の要望の把握にも努めることで、更なる利用拡大に努めたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。 (集客を目指す展示、独創性のある展示、外に広がる展示など) ・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会も積極的に開催する。 <p>[参考] 特別展：毎年2つの展示室で開催する大規模な展覧会。年2～3回（春と秋）開催。 企画展：常設展「文学の森へ」と同時開催する展覧会。展覧会ごとに新たな企画として開催する中規模の展覧会。</p>	<p>10月～11月 特別展「生誕140年 泉鏡花展 —ものがたりの水脈—」を開催 入場者数 5,696人</p> <p>12月～1月 常設展+新収蔵資料展2013 +大佛次郎没後40年記念特設コーナー 「—大佛次郎の戦後—」 入場者数 1,159人</p> <p>2月～3月 企画展「生誕90年 黒岩重吾展」 常設展「文学の森へ 第3部」併設 入場者数 2,233人</p>

提案内容		実施状況等
2 (指定管理業務)	・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会などの企画を開催し、利用者のニーズに応える。	(講演会、講座、朗読会など) 10～11月 鏡花展記念展記念講座 2回 同 展記念対談 1回 同 展記念朗読会 1回 同 展記念映画会 2回 「鏡花展」ギャリートーク 他 丸谷才一全集刊行記念講演会 1回 (ほかにも文字・活字文化の日記念行事) 12月 日韓文化交流イベント 1回 (日韓女性作家による自作朗読と鼎談) 子ども読書推進フォーラム 1回 (県立図共催) 大佛次郎没後40年記念映画会 2回 2～3月 黒岩重吾展記念講演会 1回 黒岩重吾展記念講座 1回 「黒岩展」ギャリートーク 他 (パネル展) 10月 「夏目漱石」(大船高等学校) 10月～11月 「中島敦」(横須賀高等学校) 「コロポックル物語」(市立西本郷中学校) 11月 「夏目漱石」(捜真女学校中・高等学部) 「コロポックル物語」(小田原総合ビジネス高等学校) 「中島敦」(横浜修悠館高等学校) 11月～12月 「井上靖」(三浦臨海高等学校) 11月 第2回図書館報コンクール (県高等学校文化連盟図書専門部) 2月 第2回ビブリオバトル&Popフェスタ 3月 第5回文学館活用研修会 第1回神奈川本大賞(後援)
3 (指)	・インターネットによる所蔵資料情報の公開を進める。	近代文学館のホームページで実施 ホームページアクセス件数 46,266件 (うち蔵書アクセス件数 17,096件)
4 (指定管理業務)	・専門館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。 [参考] レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、仲介的な立場から援助するサービス。 利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。	レファレンス件数 132件 ・財団の四半世紀を超える資料調査や蒐集などで集められた情報の蓄積が、レファレンスの能力と精度を高め、迅速で正確な回答を可能にしている。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日		○	○	○	無	「泉鏡花展」、常設展「文学の森へ第1部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
11月	12月9日		○	○	○	無	「泉鏡花展」、常設展「文学の森へ第1部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
12月	1月10日		○	○	○	無	「新収蔵資料展」、常設展「文学の森へ第2部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
1月	2月10日		○	○	○	無	「新収蔵資料展」、常設展「文学の森へ第2部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
2月	3月7日		○	○	○	無	「黒岩重吾展」、常設展「文学の森へ第3部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
3月	4月7日		○	○	○	無	「黒岩重吾展」、常設展「文学の森へ第3部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナー等をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		401,259	7,786	5,608	414,653	414,653		0
年度計画	前年度	392,784	8,824	6,279	407,887	407,887	0	0
	上半期	176,681	4,442	3,610	184,733	184,733	0	0
	下半期	216,103	4,382	2,669	223,154	223,154	0	0
	今年度	393,302	8,874	6,934	409,110	409,110	0	0
	上半期	177,117	4,671	3,871	185,659	185,659	0	0
	下半期	216,185	4,203	3,063	223,451	223,451	0	0
通年実績	上半期合計	177,117	8,141	9,454	194,712	173,045	0	21,667
	対収支計画比	0.0%	74.3%	144.2%	① 4.9%	② ▲ 6.8%	③	11.7%
	10月	31,630	824	739	33,193	31,463		1,729
	11月	28,761	1,336	814	30,912	27,842		3,070
	12月	50,595	320	56	50,972	45,243		5,728
	1月	25,899	277	87	26,263	29,690		▲ 3,427
	2月	30,211	284	118	30,613	28,470		2,142
	3月	49,089	446	250	49,786	80,697		▲ 30,911
	下半期合計	216,185	3,489	2,067	221,741	243,408	0	▲ 21,667
	対収支計画比	0.0%	▲ 17.0%	▲ 32.5%	① ▲ 0.8%	② 8.9%	③	▲ 9.7%
通年合計	393,302	11,630	11,521	416,454	416,454	0	0	
対収支計画比	0.0%	31.1%	66.2%	① 1.8%	② 1.8%	③		
参考	前年度 下半期実績合計	216,103	3,818	2,861	222,782	234,828		▲ 12,045
	対前年度 下半期実績比				▲ 0.5%	3.7%		

※その他収入の内容 事業収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	当初上半期予定の空調用熱源の点検、空調機周りの機器整備工事等を、展示室への影響及び施工の工程等に配慮し下半期に順次実施。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	18,590	空調用制御弁及びストレーナ取替工事、ガス消火設備取替工事、給排気ファン取替え工事
合計	18,590	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 C

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	4,326 人	5,142 人	84.1 %
11月	6,632 人	6,401 人	103.6 %
12月	3,404 人	3,810 人	89.3 %
1月	2,344 人	3,292 人	71.2 %
2月	2,135 人	2,919 人	73.1 %
3月	3,368 人	3,226 人	104.4 %
合計	22,209 人	24,790 人	89.6 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	22,209 人	24,790 人	24,568 人	① 90.4 %	② 89.6 %
上半期計	39,317 人	30,374 人	33,832 人	① 116.3 %	② 129.5 %
合計	61,526 人	55,164 人	58,400 人	① 105.4 %	② 111.6 %

※目標値の設定の有無

設定している

期間 <u> </u>	その他の場合の期間 <u> </u>
基準 <u> </u>	その他の場合の基準 <u> </u>
<u> </u>	<u> </u>

※目標利用者数は、特別展・企画展の開催数が上半期(特別展1、企画展2)と下半期(特別展1、企画展1)で異なることから、経営改善目標値(通年58,400人)を過去5年間(H20～24)の利用者数の上半期割合(57.93%)で案分。

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	利用者数が上半期で通年の目標値の6割を超えたため、下半期は悪天候の影響もあり目標数にやや及ばなかったものの、通年では目標者数を上回ることができた。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	上半期が好調であったため、昨年10～11月開催の特別展(7,162名)と比べて、今年度の同月開催の特別展の入場者数は5,696人と減少したものの、通年では前年同期を上回ることができた。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	ホール	中会議室	小会議室	和室			合計
定員(1日あたりの延べ人数)	220	60	18	20			318
年間利用可能日数	314	314	314	314			
最大人数	69,080	18,840	5,652	6,280	0	0	99,852
半期	34,540	9,420	2,826	3,140	0	0	49,926

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 B

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果		125	59	0		184	125 (68.0%)
[参考] 上半期結果						0	0 ()

※今年度の実施予定

上半期 0 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 300 件

回収 234 件

回収率 78.0% %

※実施方法

受付等に配架

メール、HP

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 A

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	59 (0)	59 (0)
[参考] 上半期結果	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	189 (0)	189 (0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	所々に椅子があればありがたい。ソファでもよい	各所にソファを設置
	施設までの案内ルートをわかりやすく	ブラフ99ガーデンの開園に伴い、電柱広告を移設
職員対応	観覧者の私語をつつしんでいただけるようには出来ないでしょうか	職員巡回時、必要に応じ対応
事業内容	学生や一般読者向けの、近代文学に興味を持たせるような講座の開催	平成26年度春季の太宰治展で柳美里氏や川上未映子氏のトークイベントを開催
	ゲーム、アニメ、マンガ、子どもがみておもしろいもの	平成26年度春季の太宰治展では「ヤングエース」連載の漫画「文豪ストレイドッグス」とコラボ
その他	あったら良いと思う神奈川近代文学館周辺の情報は特にない。このままでよい	受付でパンフレットやインターネット等を用いて近隣の飲食店等の案内を継続

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 A

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【事故・不祥事等を防止するための積極的な取り組み】</p> <p>来館者向けの事故防止対策として次の取組を行った結果、事故等は発生しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雪の時期に、展示館入口スロープ付近一帯の煉瓦床に生えた苔が滑りやすい ことから、転倒防止のため毎週1回程度苔の清掃を重点的に実施するなどの来館者の安全を図るための取組を行った。 ・ 強風が発生した後は、倒木や枝の落下がないか施設周辺を点検し、もし発見した場合は速やかに処置を行って、通行者の障害にならないよう、事故防止を図った。 </div>		

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		